アリストテレスが民主主義を語った時、それはプロの政治家を選挙で選ぶ現代の常識とは異なって、市民がくじ引きによって交代で公職を担当する政治制度を意味していた。しかしそれは、多数者が自らの利益のために国家を支配する政治のことで、公益のために市民が協力する国制の逸脱型とされた。つまり良政治体制を意味していたわけではない。

今日、民主主義はほとんど唯一の正しい政治のやり方を意味し、それに疑問を呈することはとりわけアメリカでは異端である。だが現実の民主政治は選挙民が不満を募らせているのは、政権交代後の期待が高まるに増して、アメリカでももし民主主義体制がうまくいくのなら、なぜ民主主義でないといけないのであろう。改めて民主主義を正面から考えなくてはならないか。